

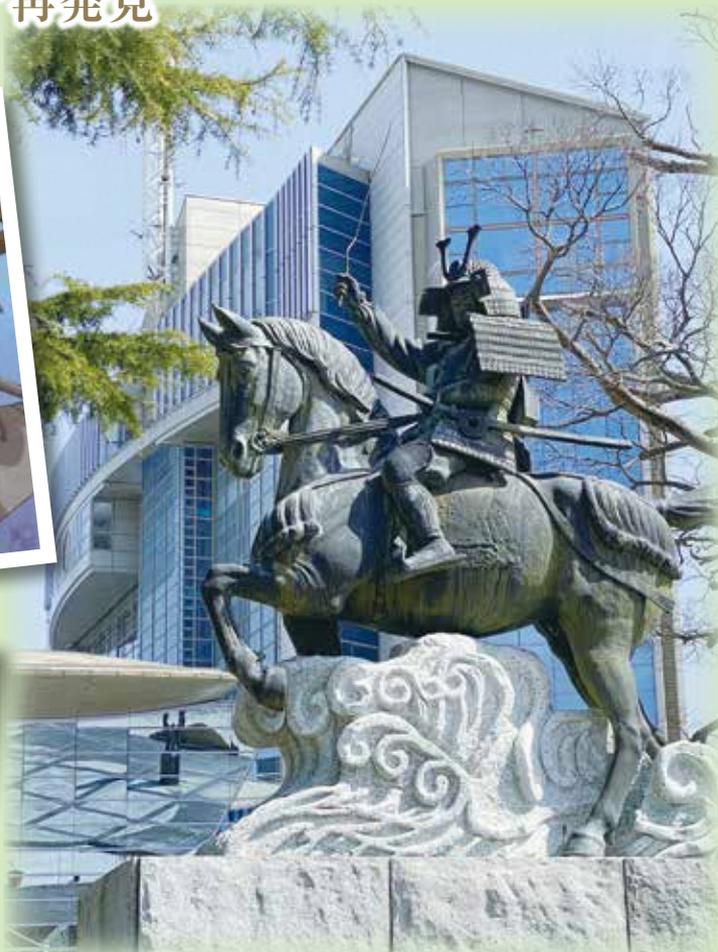
市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



り
物見塚
馬上の祐親
凛として

伊東祐親公の像

伊東の祖といわれる伊東祐親の像が物見塚公園にあります。公園からは伊東の町が一望できます。伊東かるた解説書より

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 3月定例会の概要 ……【P. 2】
- 一般質問（11議員が登壇） ……【P. 7】
- 予算大綱質疑（6議員が質疑） ……【P. 4】
- 常任委員会だより ……【P. 12】



令和4年3月定例会

令和4年度一般会計予算を全会一致で可決 特別会計6件、企業会計3件についても可決

3月定例会を2月21日から3月22日までの30日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第15号	令和3年度伊東市一般会計補正予算(第7号)専決処分の報告承認について	国の経済対策のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大防止事業枠の生活・暮らしへの支援として実施される、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業に係る一般会計補正予算について、令和3年12月27日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第8号	市の義務に属する損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について	市職員による粗大ごみの回収時、誤って回収依頼者宅の窓ガラスを破損させ損害を与えたため損害賠償を行ったもので、令和3年12月16日に専決処分を行ったことの報告	市長	報告・質疑のみ
市議第34号	伊東市長の給料の特例に関する条例	市長に支給する給料月額を令和4年3月1日から令和4年5月31日までの間、伊東市特別職の職員の給与に関する条例の別表に定める額から100分の10を減額することを規定する条例を制定	市長	賛成多数で可決
市議第35号	伊東市祝金条例の一部を改正する条例	本市で育つ子の成長を願い、節目となる小・中学校入学時に祝金を贈呈することにより、子育て支援の充実等を図るため、入学祝金5万円の新設に係る規定の整備及び誕生祝金の受給要件を改める等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第36号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い、未就学児の国民健康保険基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割について、減額割合を定める等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第37号	伊東市消防団条例の一部を改正する条例	消防団員の処遇等に関する検討会の基準概要に合わせ、消防団の出動等に係る支給費目を費用弁償から報酬に改めるとともに、機関員の廃止や出動報酬加算額の拡充を定める等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第38号	和解について	本市が提訴された著作権者人格権に基づく侵害停止等請求事件について、訴訟上の和解を行うに当たり、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第39号	市道の路線認定について	市道と認定している道路には、県道や市道同士との区域の重複及び道路台帳との形状が相違している区間があることから、道路台帳のデジタル化を契機に不必要な重複区間の解消等を行うことにより、適切な道路の維持管理等を図るため、一括認定及び一括廃止を行うもの	市長	賛成多数で可決
市議第40号	市道の路線廃止について		市長	賛成多数で可決
市議第41号	令和3年度伊東市一般会計補正予算(第8号)	各種事業の執行経費の整理、新型コロナウイルス感染症関連の支援事業、令和4年度当初にかけての経済対策事業や小学校3校統合に向けて実施する東小学校の校舎改修等に係る経費の追加を主な内容として、5億6,037万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第42号	令和3年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第3号)	車券の売上げが好調に推移し、見込みを上回ることから、歳入において車券売上金を増額し、歳出において、車券売上金の増額に見合う勝者投票払戻金や競輪施設改善基金への積立金を追加し、20億円の増額	市長	全会一致で可決
市議第43号	令和3年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	一般被保険者療養給付費等の増額、各種事務経費等の整理を主な内容として1億4,929万9,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第44号	令和3年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	広域連合に納付する後期高齢者医療保険料負担金や保険基盤安定負担金を増額するとともに、各種事務経費等の整理を行い、1,931万3,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第45号	令和3年度伊東市下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収支については、他会計補助金の資本的収入との調整による減額及び企業債利息の減額、資本的収支については、交付金事業の前倒しに伴う国庫補助金の増額、事業の前倒しによる施設の改築等に係る委託料及び工事請負費の増額を主な内容として計上	市長	全会一致で可決
市議第46号	令和3年度伊東市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収支については、新型コロナウイルス感染症の影響による給水収益の減額、資本的収支については、計画の見直しによる委託料及び工事請負費の減額を主な内容として計上	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第47号 市議第56号  討論	令和4年度伊東市一般会計予算、特別会計予算6件、企業会計予算3件	各会計の概要は4ページの表をご参照ください。	市長	4ページ をご覧ください
市議第57号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した(感染が疑われる場合を含む。)国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援措置に合わせて適用期間を延長するもの	市長	全会一致 で可決
市議第58号  討論	伊東市一般職の職員の給与に関する条例及び伊東市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	令和3年人事院勧告において、民間の支給割合との均衡を図るため期末手当の引下げが勧告されたことに伴う措置を講じるもの	市長	賛成多数 で可決
市議第59号	市民運動場人工芝生化工事請負契約の一部変更について	駐車場の舗装に大きな亀裂が確認されたことにより、復旧させる必要が生じたため、契約金額を変更するもの	市長	賛成多数 で可決
市選第4号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	松屋永久氏(川奈) 再任	市長	全会一致 で選任に 同意
市諮第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	富永博道氏(川奈) 再任	市長	全会一致 で推薦に 同意
市諮第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	日吉光余氏(富戸) 新任	市長	全会一致 で推薦に 同意
発議第9号	ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議	決議文は12ページをご覧ください	議員 7名*	全会一致 で可決
発議第10号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	内閣総理大臣、地方創生担当大臣、デジタル大臣、新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣、デジタル田園都市国家構想担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名*	全会一致 で可決
請願第1号  討論	日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書提出を求める請願	委員会不採択理由:核兵器廃絶に向けては、世界で唯一の被爆国であるからこそ、現実的な協議が必要であり、現時点においては、国際情勢及び日本政府の方針を見守るべきと考えることから不採択		不採択とすべしとした委員会報告のとおり賛成多数で不採択

*各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

市議第二六号
《賛成》日本共産党

国保税の算定には所得割のほかに医療分と後期高齢者支援分に、世帯の人数で加算される均等割があり、家族が多いと負担が重かったが、今改定は未就学児の均等割を二分の一に減額するもので評価できる。本来、労働年齢でない一八歳未満までを減額の対象にすべきであるが、さらなる減免の一步として賛成とする。

市議第四七号
令和四年度 伊東市一般会計予算
《賛成》正風クラブ

移住定住、ワーケーション、業務の電子化等、「新しいスタイルへの挑戦」にふさわしい施策があることや、難しい問題の予防伐採事業、伊東駅前整備などを確実に進めていること、成年後見支援センターの開設、小学校統合の施設整備や五万円の入学祝金等、高齢者、子育て世代のことも考えられていることから賛成する。

会派構成は11ページをご覧ください

《賛成》日本共産党

本市における令和三年度の転入超過数は県下トップであり、新年度予算では移住・定住のための新規事業がより拡充されたこと、小学校三校の統合に向け学童保育の施設が建設されること、公立の会計年度任用職員の保育従事者に対して処遇改善が図られるなど、積極的な予算を評価し、賛成とする。

《賛成》公明党

昨年に続き経営方針を「新しい伊東への挑戦」みんなで創る新たな未来」とし、これを拡充すべく、事業の選択と集中、洗練と創設を施した予算案であることを受け止めた。小野市長には、引き続き「有言実行!みんなとともに」の基本理念を貫いていただき、「誰もが夢を形にできる未来を拓いて」いくことを期待する。

本会議で行われた討論の概要
※登壇順に掲載しています。

本会議で行われた討論の概要
※登壇順に掲載しています。

《賛成》無党派 颯

スカイポート亀石解体事業の起債は、将来の納税者との負担公平性を考えるべきことや、自治体DX推進はデジタル技術人材育成の併用も必要。移住定住促進事業ではサポート体制強化や教育、福祉、観光工との一体性も図りつつ各項目において、地政学リスクに鑑み新年度予算が有効に使われることを願い賛成。

市議第五八号

《反対》日本共産党

人事院による期末手当引下げの勧告は令和二年、三年と二年続けての実施である。令和三年一二月の引下げが経済的影響等を懸念して持ち越されたため、令和四年六月の引下げ幅は膨大で一四万円を超える職員もある。コロナ禍で職員の仕事が増えていることが全く考慮されていない人勧実施には強く反対する。

請願第一号

《採択に賛成》日本共産党

原爆による後遺症で今なお被爆者は苦しんでいる。被爆者の確かな願いは、全ての核兵器を地球上からなくすことであり、請願者の願いも同様である。またロシア軍によるウクライナ侵攻で核兵器使用が危惧される情勢に鑑み、唯一の戦争被爆国である日本には核兵器廃絶の先頭に立つてほしいと考え採択に賛成する。

議会内の異動

■三月二三日

会派名変更

(新) 自民・維新の会
(旧) 自民・伊東新時代
※会派名の変更は三月定例会後に行われたため、大綱質疑に掲載の会派名は、変更前のものとなっております。



予算大綱質疑



録画配信はこちら

6会派が質疑しました

～市長施政方針及び各会計予算案について～

(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は11ページをご覧ください。)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。

令和4年度 市長経営方針

新しい伊東スタイルへの挑戦 ～みんなで創る新たな未来～

ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、国際観光温泉文化都市としての発展と、安全・安心な市民生活を両立させていくための各種施策に取り組んでいく

主な新規事業

- SDGs推進事業
- DX推進事業
- スカイポート亀石解体事業
- 成年後見支援センター運営事業
- 結婚支援事業
- 伊東市祝金(入学祝金)贈呈事業
- 観光消費動向等調査事業
- 新井二丁目地内治山事業
- 予防伐採事業
- 放課後児童クラブ施設整備事業
- 富戸の魚見小屋改修事業
- 市民体育センター屋根改修事業
- 天城霊園合葬式墓地建設事業
- 再生可能エネルギー実施設計事業

ほか

令和4年度 各会計予算

◎全会一致で可決、○賛成多数で可決

会計別	区分	当初予算額	前年度対比	審議結果
一	般 会 計	271億5,000万円	99.6%	◎
特別会計	競 輪 事 業	238億円	138.9%	◎
	国民健康保険事業	87億8,200万円	100.9%	◎
	土 地 取 得	5,700万円	219.2%	◎
	霊 園 事 業	5,510万円	134.4%	◎
	介 護 保 険 事 業	88億4,000万円	104.9%	◎
	後期高齢者医療	23億4,100万円	107.5%	○
病 院 事 業 会 計		5億5,117万円	100.5%	◎
下 水 道 事 業 会 計		30億4,446万円	104.2%	◎
水 道 事 業 会 計		27億3,035万円	100.6%	◎
合	計	773億5,108万円	110.6%	一

※病院事業会計、下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額



正風クラブ
あおきよしひろ
(青木敬博議員)

予防伐採事業の内容について伺う

市長

災害時の倒木による被害を未然に防ぐため、支障木を伐採する事業である

予防伐採事業は、災害時の倒木等による大規模な停電や道路封鎖等を未然に防ぐため、また、災害からの早期復旧を図るため、市道沿線などの配電施設周辺に繁茂する支障木を伐採する事業である。

また、令和四年度に実施する伐採箇所としては、市道八幡野・草崎線の第二赤沢橋からあかさわ恒陽台別荘地入口までの約一キロメートルに及ぶ箇所を予定しており、支障木の伐採範囲等については、建築限界や架線の影響等を考慮する

中で、電気事業者と協議を進めているところである。当該事業については、静岡県の「地震・津波対策等減災交付金」を活用することで経費節減を目指しつつ、電気事業者と役割分担等について協議し、連携しながら事業を実施することで、作業効率の向上や、双方の費用負担の軽減を図っていく。

津波避難案内看板整備事業の内容について伺う

市長

老朽化した海抜表示看板の交換を行うとともに、災害種別ごとの適切な避難場所を示した新しい案内看板を設置する事業である

本事業は、平成二三年度に、津波浸水想定区域内を中心に東京電力の電柱に設置された二二五か所の海抜表示看板について、設置から一〇年が経過し、老朽化が進んだことから交換を行うものである。

平成二三年度に設置された現看板には、最寄りの広域避難場所の方向が表記されており、津波から避難する際に、現看板を参考にすると、高台ではない広域避難場所へ誘導してしまう恐れがあることから、令和四年度に交換する予定の海抜表示看板には広域避難場所の方向は表記せず、新たに、別の電柱に、災害種別をピクトグラムで表記した避難案内看板を設置することとし、市民等が災害種別に合わせ、適切に避難ができるよう改善を図っていく。

『その他の質疑』四一項目



清和会
すぎもとかずや
(杉本憲也議員)

各政党・会派等からの政策要望やタウンミーティングなどで出た地域からの市民要望、議会答弁及び決算認定に係る審議内容を反映させた事業について伺う

市長

伊東駅周辺地区整備事業、富戸の魚見小屋改修事業、予防伐採事業などの七三事業に反映させ、適切に事業を執行する

令和四年度の予算編成に係る要望について、各政党・会派等の八団体から提出された一九〇件の政策要望のうちの四六件、一五地区で開催したタウンミーティングにおいて挙げられた一五五件の地域からの市民要望のうち、二七件を反映させた。

新年度予算で要望を反映させた具体的な事業については、新規事業として、SDGs推進事業、予防伐採事業、富戸の魚見小屋改修事業等であり、昨年度と比較し拡充させた事業として、伊東駅周辺地区整備事業、街頭防犯カメラ設置補助事業等となっている。

また、議会答弁及び決算認定に係る審議内容を踏まえた事業については、各課に対し、留意して予算要求

するよう指示したことから、具体的な事業数等を答えることは難しいものの、基本的には、既存の継続事業全般が該当していると考えている。各事業の予算執行に当たっては、これまでの審議内容や市民の皆様からの意見等を踏まえ、適切に執行するよう指示する。

『その他の質疑』一八項目



自民・伊東新時代。
なかじまひろみち
(中島弘道議員)

スカイポート亀石解体工事の内容及び実施計画を伺う

市長

未使用施設となり、長期間の放置は防犯上や景観上問題があるため、財源が確保できる令和四年度に解体を実施する

平成一八年に静岡県道路公社から無償譲渡により取得したスカイポート亀石は、

施設の老朽化が進む中、利用者の減少に歯止めがかからず、平成三〇年にレストランを閉鎖、その後、コロナ禍の影響もあり、令和三年三月で土産物販売も終了し、施設閉鎖に至っている。

長期間施設を閉鎖したまま放置しておくことは、防犯上望ましくなく、亀石峠の頂上という自然の中にある、眺望を阻害する等の景観上の問題もあること、また、施設を解体するに当たり、新たにトイレを建設する必要があるが、令和四年度に、道路公社においてそのための予算が確保できたこと、さらには、事業費の財源となる公共施設等適正管理推進事業債の制度が期限を迎えると思われるため、令和四年度予算に解体経費を計上したものである。

実施計画を含めた工事内容としては、年度前半に施設のアスベスト含有調査を実施し、トイレの使用に支障を来さないよう、道路公社による新トイレの設置が完了した後、年度後半に卜

イレ棟を含む建物全体の解体及び浄化槽や電気設備等を含む地下の設備の撤去を実施する予定である。

『その他の質疑』一八項目



公明党
ながさわまさし
(長沢正議員)

市長経営方針は、昨年度に続き、「新しい伊東スタイルへの挑戦〜みんなで創る新たな未来〜」であるが、新年度予算案において、中核となる取組を伺う

市長

ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、国際観光温泉文化都市としての発展と安全・安心な市民生活を両立させるための取組を行う

新型コロナウイルス感染症による市民生活や市内経済への影響が大きく、依然として収束の兆しが見えないことから、新しい伊東ス

タイルを意識し、事業の見直し、実施等に取り組んでいきたいと考え、市長経営方針を決めた。

ウィズコロナ、アフター

コロナを見据え、国際観光温泉文化都市としての発展と安全・安心な市民生活を両立させていくための施策として、お試し移住支援事業や移住定住促進空き家改修支援事業を新設し、移住定住をさらに促進するほか、結婚支援事業や入学祝金贈呈事業を実施し、結婚から出産・子育てに対する支援の充実を図っていく。

また、福祉施設へ入所する方へのPCR検査費用の助成や、街頭防犯カメラ設置補助により、安全・安心な市民生活の実現に努めていく。

さらに、伊東駅周辺地区の活性化とにぎわいの創出に向け、駅前広場の測量・概略設計に取り組むほか、「夢と未来を育む図書館」の実現に向け、新図書館建設の実施設計を進めていく。

『その他の質疑』一八項目



無党派 堀
たくぼまき
(田久保真紀議員)

地域活性化事業及びシティプロモーション推進事業の内容及び見通しを伺う

市長

観光施策として、まちなにぎわい創出やデジタル媒体を活用した魅力発信を行う

地域活性化事業は、まちなにぎわいを創出し、伊東温泉のイメージアップを図る事業である。シティプロモーション推進事業は、デジタル媒体を活用して本市の魅力発信するとともに、ロケ誘致やワーケーションの推進等を実施し、本市のプロモーションを展開していく事業である。コロナ禍の状況に応じたあらゆる工夫を尽くす中で、最大限の効果を得られるよう事業を展開していきたい。

『その他の質疑』三項目



日本共産党
しほかほこ
(星岡秀子議員)

移住定住促進事業について、昨年度と比較して予算を増額し、新規事業を充実させたが、その意図を伺う

市長

将来的な人口の確保に向けて、これまで以上に移住定住の取組に注力する

移住定住の増大に向けた総合的な施策の推進等に加え、本市とつながりを持つ機会の創出等による関係人口の増大に向けた施策を推進することにより、二〇六〇年に三万六六〇〇人の人口を確保することを目標としている。

お試し移住支援補助事業、リモートワーク誘致事業等を新たに実施し、これまで以上に移住定住の取組に注力する。

『その他の質疑』七項目



一 般 質 問



録画配信はこちら

11議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



さとしゅわ 議員
(正風クラブ)

伊東市立地適正化計画について、小・中学校を誘導施設から除外する一方で、保育所等を誘導施設に設定している理由を伺う

立地適正化計画に関し、既に運用を開始している他市町においては、子育て支援施設を誘導施設から除外しているケースもあるが、本市の計画素案では、小・中学校を誘導施設から除外する一方、保育所等を誘導施設に設定している理由について伺う。

市長

子育て世代が居住地を決める要素となる保育所等は誘導施設としたが、小・中学校は統合が計画されているため、誘導施設とすることが難しい状況であった



保育所等は子育て世代の居住地選びの一つの要素となる

立地適正化計画は、おおむね二〇年後の都市像を展望し、一定の人口密度の維持及び生活サービス機能等の計画的な配置のために、居住や都市機能を誘導する区域・施設等を定めるもので、令和五年三月末の策定・公表を目指している。子育て世代が居住地を決める要素となる保育所等を誘導施設と設定することにより、定住が促進され居住誘導区域内の人口密度が維持され、医療、子育て支援等の都市機能が集約する、コンパクトなまちづくりの実現が可能になると考える。また、小・中学校は少子化の影響により統合が計画されていることから、誘導施設と定めることが難しい状況となっている。

『その他の質問』 七項目



しのはらみね こ 議員
(公明党)

福祉避難所の開設について現状及び課題を伺う

大きな災害が発生した際、家族内に障がいのある方がいた場合、「避難所に迷惑がかかる、きつと受け入れてもらえない」等の理由から避難を諦めてしまうケースがある。

一方で、福祉避難所というものが伊東市総合防災ガイドブックに記載されていることを知っている方はほとんどおらず、そして、これまで開設されたこともない。いざというときに機能するのか疑問に思うことから、現状及び課題を伺う。

市長

七施設が指定されており、運営体制等について関係機関と連携し取組を進めている

伊東市総合防災ガイドブックには、福祉避難所一覧が掲載されている



『その他の質問』 一〇項目

福祉避難所については、高齢者、障がい者、乳幼児、その他特に配慮を要する方の避難所として、本市では、特別養護老人ホームや障がい者入所施設などの七施設を指定している。しかし、災害発生時の施設の受入れ態勢や人員確保の問題、さらには、大規模災害発生時には現在の福祉避難所では受入れが不十分となる可能性もあり、国県や関係機関との連携の下、災害状況に応じた対応が必要になるものと考えている。今後は、昨年五月に改定された国のガイドラインを参考に、関係機関と連携する中で、福祉避難所の確保・運営について取組を進めていく。



鈴木 綾子 議員
(正風クラブ)

駅前ロータリーの現状の課題及び課題解消に向けた取組について伺う

駅前広場の整備については、伊東駅前広場整備検討委員会にて、令和六年度の着手を目標に協議を重ね、検討が進められているが、新聞報道による情報しか得られず、具体的な内容が全く分からない状況である。駅はまちの玄関口であり、市民にしっかりと情報が行き渡ること、また、活用しやすい整備を進めていただきたいという思いから、駅前ロータリーの現状の課題及び課題解消に向けた取組について伺う。

市長

通勤・通学時の渋滞が課題であり、今後の駅前広場の整備の中で通行の円滑化を目指している

駅前ロータリーの課題として、通勤・通学の時間帯における渋滞の発生、また、運転者間のトラブルや車両の接触事故などが考えられ、課題解消に向けた取組として、現状では広報いとう等を通じて、送迎に伊東駅を利用される方へ、市営伊東駅前駐車場の利用を周知しているところである。

今後の駅前広場の整備については、検討委員会での整備の基本方針として、バス、タクシー、一般車などの自動車の通行等を円滑に処理し、歩行者が安全に乗り継ぎできる交通結節点広場を目指しているところである。

『その他の質問』 五項目



令和6年度の整備着手に向け協議が重ねられている



鳥居 康子 議員
(公明党)

競輪事業について、車券売上げの好調の要因、一般会計への繰り出し状況及び競輪場の施設改善計画について伺う

公営競技は、売上げの一部を地域に還元するなど、社会貢献が最大の役割である。平成一二年から二五年まで止まっていた、一般会計への繰り出しも近年順調であることから、車券売上げが好調となっている要因、一般会計への繰入れ状況及び施設の改善計画について伺う。

市長

インターネットによる車券売上げが好調となり、令和三年度は二億五〇〇〇万円を一般会計に繰り出す予定であり、また、GI競輪開催の誘致に向け施設改善を計画している

コロナ禍の巣籠もり需要の影響から、民間ポータルサイトを中心にインターネット売上げが好調となっており、競輪界全体の売上増につながっている。

また、以前は不採算レースであった、FII競輪の開催をナイター及びミッドナイト競輪に切り替えたことにより、インターネット販売を中心に、車券売上げが伸び、令和三年度は一般会計に二億五〇〇〇万円の繰り出しを予定している。

施設改善については、GI競輪の開催誘致に向け、特別観覧席のリノベーション工事及びミカリン広場の改修等を計画している。

『その他の質問』 四項目



伊東温泉けいりんのマスコットキャラクターのミカリン

市長

映像作品のロケ地としても活用され、現在、整備工事の実施について検討しているところである



仲田 佳正 議員
(正風クラブ)

城ヶ崎海岸の現状の活用方法及び整備計画について伺う

城ヶ崎海岸には、全長約九キロメートルにわたる「ピクニカルコース」及び「自然研究路」があり、どちらの散策コースもリアス式海岸の断崖に沿った道で素晴らしい絶景が続く。

観光地として、また、市民の憩いの場として人気のスポットである城ヶ崎海岸の現状の活用方法を伺うとともに、散策コースには、道の傷みや倒木、雑草の茂みなどが散見されることから、今後の整備計画を伺う。

現状の活用方法としては、積極的に進めているロケの誘致等により、城ヶ崎海岸一帯が多く映像作品のロケ地となっており、より多くの方に訪れていただけるよう、多方面からのPRに取り組んでいるところである。

整備状況としては、危険箇所への転落防止柵の設置、ベンチやあずまやなどの整備に加え、日常的に点検を行い、必要に応じて草刈りや倒木処理を実施するなど、環境整備に努めているが、ウッドチップ舗装の経年劣化による傷み、転落防止柵の破損等があることから、全体的な整備工事の実施について、現在検討を進めているところである。



地球の神秘をかいま見れる
素晴らしい景観の城ヶ崎海岸

『その他の質問』 三項目

令和元年度から三年度にかけて実施した都市計画道路再検証調査の概要及び結果について伺う



佐藤龍彦議員
(日本共産党)

令和元年度から三年度にかけて実施した都市計画道路再検証調査は、市民の利便性向上及び土地の合理的利用のため決定した都市計画道路について、人口減少等の社会情勢の変化等、計画見直しの必要性が生じたことにより実施したと考えるが、調査の概要及び結果について伺う。

市長

都市計画道路として計画したが、改良工事未着手となっている路線の必要性を検証し、四路線を全区間または一部廃止とした

本市における都市計画道路のうち、約一〇・七キロ

メートルが改良工事未着手となっており、社会情勢及び交通需要等の変化を勘案し、関係各課及び有識者による見直しに向けた検討委員会を設置した。

委員会では、必要性再検証ガイドラインに基づき整備状況等を踏まえ、見直し対象区間を選定し必要性等の検証を行い、宇佐美駅前通線の全区間廃止、宇佐美八幡中里線、芹田大原線及び伊東駅伊東港線の三路線を一部区間廃止とする等の方針を決定した。

今後は、廃止予定の路線のうち、供用されている路線について、歩行者の安全対策等の整備を検討する。

『その他の質問』 一項目



供用中の路線については、歩行者の安全対策が求められる

確約書作成のきっかけもなった知り合いの弁護士等の発言を市長はどのように受け止めたのか伺う



四宮和彦議員
(清和会)

令和三年一〇月に行われた政治倫理審査会において、市長は、知り合いの弁護士等からの「伊豆メガソーラーパーク合同会社との裁判は圧倒的に不利であるから、損害賠償金の支払いを避けるためにも和解したほうがよい」というような意見」等が確約書を作成する一つのきっかけとなった旨の発言をしているが、市長はそのような無責任な助言をどのように受け止めたのか伺う。

市長

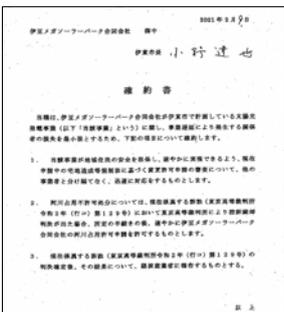
専門家による熟考された意見として重く受け止めた

第一審の判決を受け、控

訴審は大変厳しい状況が予想されたため、顧問弁護士だけでなく、個人的に懇意にしている複数の弁護士へ相談した。なお、政治倫理審査会会議録中の「和解したほうがよい」というような意見については、市の対応についてしっかりと主張することを前提としつつ、相手方の動向が確認できれば、和解についても検討したほうがよいという意味での助言であった。

専門家である先生方の意見は熟考した上での発言と思われたことから、私自身の中で重く受け止め、追い詰められた気持ちになり、最終的に市が損害賠償を受けられないよう、準備する必要があるとの思いに至った。

『その他の質問』 一〇項目



市長が交付した確約書



あさだ よしひろ
浅田良弘議員
(無党派 颯)

本市の特徴を生かした、食文化や地域の歴史等を体験できる新たな旅行形態を推進させるための考えを伺う

観光客数が減少し、経済損失額が増えている近年の状況から、市内経済は非常に逼迫していると思われる。地域の食を楽しみ、食文化に触れることができるガストロノミーツーリズム等のニューツーリズムが注目されていることから、観光業の需要喚起策として、本市の食文化、歴史等と観光

を結ぶ新たな旅行形態を推進させるための考えを伺う。

市長

ブランド研究会と情報共有を図りつつ、新たな観光形態の推進について検討する

従来型の旅行スタイルで不足していた、体験や交流

などの要素を取り入れて、

地域の特性を生かした旅行商品を地域が主体となって造成するニューツーリズムが注目されている中、本市では、伊豆・いとう地魚王国など、地域の特性を生かした食に関する取組も進められているほか、南部地域を中心に芸術及びスポーツなどの体験施設も多いため、これらの体験と観光を組み合わせたプランの造成など、ニューツーリズムを推進していく基盤は整っていると考えている。

今後、観光プロモーション事業の中で組織したブランド研究会と情報共有を図りながら、新たな観光形態の推進について検討する。

『その他の質問』 四項目



伊東の地魚を使った、名物ローカルフード「うずわめし」



しげおか ひでこ
重岡秀子議員
(日本共産党)

河川占用不許可処分について一審判決等を踏まえ、控訴決定に至った協議及びその記録に伺う

確約書問題では行政の内部統制の問題が大きく問われているが、同時に、四〇ヘクタールもの山林伐採を含む開発行為に係る許可申請に対し、本市がどのように向き合ったのかを抜きには検証できない問題であると考えている。

控訴を決定するに当たり、河川占用不許可処分や一審判決を踏まえた慎重な論議があったと思うが、どのような協議を経たのか、また、その記録はあるのか伺う。

市長

控訴申立てに関する検討資料を作成し、市長までの意思確認を行った

令和二年五月二二日に一

審判決の言渡しを受け、まず、建設部において、認定事実及び四つの争点について、どのように裁判所が判断しているかを確認した。

そして、その確認を踏まえ、今後の対応として控訴を申し立てるとする検討資料を令和二年五月二六日付で作成し、同資料を基に、市長までの意思確認を行うとともに、同日付で、一審での訴訟代理人に対しても、検討資料に係る意見を伺い、この一連の流れを経て控訴することを決定した。

このため、協議自体の記録等はないが、前述の検討資料や、控訴を委任することとした稟議決裁文書については保存している。

『その他の質問』 四項目



河川占用許可申請箇所付近



たくぼ まき
田久保真紀議員
(無党派 颯)

伊豆メガソーラーパーク合同会社と市長が交わした、確約書の受渡しに関わった職員懲戒処分の内容について伺う

政治倫理審査会の審査結果報告書によると、「市長の使者としてメッセンジャー的な役割だけを与えられた」と報告されているものの、経緯についての部分では、市長は担当職員と二人で確約書の内容を確認の上、署名した等の記載もあることから、メッセンジャー以上の役割も担っていたと考える。

また、(仮称)伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業に起因した災害を恐れている住民との信頼関係を毀損したと思われることから、報道されていた担当職員が戒告の懲戒処分と

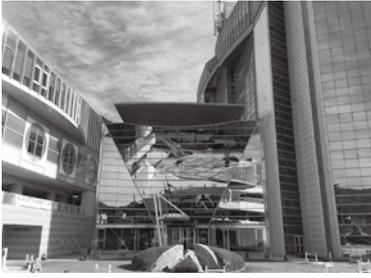
なった内容について伺う。

市長

伊東市一般職懲戒審査委員会に諮問したところ、戒告処分が相当であるとの答申があった

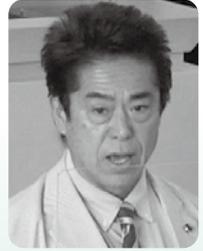
確約書に関し、伊東市議会全員協議会での質疑及び伊東市政治倫理審査会等からの報告書を受けたことから、伊東市一般職懲戒審査委員会に対し、関与した職員の処分について諮問した。同審査委員会からは、伊東市役所文書取扱規程に違反しており、地方公務員法第三三条及び同法第二九条第一項第一号に該当することから、戒告処分が相当であるとの答申があった。

『その他の質問』 五項目



懲戒審査委員会から戒告処分の答申がされた

新型コロナウイルスの小児接種の安全性に対する考えを伺う



いししましげお 石島茂雄議員 (会派に所属していない)

本市において、五歳から一歳までの新型コロナウイルスの小児接種が三月から始まることに伴い、私の元へも、子供のワクチン接種についての問合せが寄せられている。

メディア等では国内外問わず、ワクチン接種後の副反応や後遺症に苦しむ事例が紹介されており、保護者の気持ちを不安にさせているのではないかと感じる。新型コロナウイルスの小児接種の安全性に対する考えを伺う。

市長

予防接種法に基づく特例臨時接種に位置づけられたものと認識している

小児接種用のワクチンは、臨床試験等から有効性や安全性が確認されていること、また、海外でも広く接種が進められていること等を踏まえて薬事承認がされ、予防接種法に基づく特例臨時接種に位置づけられたものと認識している。

しかしながら、現時点においては、オミクロン株に対するエビデンスが確定していないことなどを踏まえ、予防接種法の努力義務の規定は適用されていない状況であるため、対象者やその保護者の方に対し、接種に関する情報を丁寧に提供し、接種を受けるかどうかを判断していただくことが必要であると考えている。

『その他の質問』 三項目



小児接種の対象者に配布するリーフレット

6月定例会の予定

6月14日(火)
開会

※日程等は、6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

閉会中の議会活動

令和3年12月定例会閉会から
令和4年3月定例会開会まで

- 12月21日 議会活動活性化協議会
- 1月27日 議会報編集委員会
- 1月28日 常任観光建設委員会協議会
- 2月 9日 常任総務委員会協議会
- 2月15日 議会運営委員会



市議会内の会派構成

(令和四年五月一日現在)

■正風クラブ

- 仲田 佳正 議員
- 鈴木 絢子 議員
- 宮崎 雅薫 議員
- ◎青木 敬博 議員
- 佐藤 周 議員

■公明党

- 鳥居 康子 議員
- 篠原 峰子 議員
- ◎長沢 正 議員

■清和会

- 四宮 和彦 議員
- 杉本 憲也 議員
- ◎井戸 清司 議員

■自民・維新の会

- 大川 勝弘 議員
- 中島 弘道 議員
- ◎杉本 一彦 議員

■日本共産党

- 佐藤 龍彦 議員
- ◎重岡 秀子 議員

■無党派

- 田久保真紀 議員
- ◎浅田 良弘 議員
- 石島 茂雄 議員

■会派に所属していない

(◎) 会派代表者、
会派構成議員は議席順

常任委員会だより

三月二〇日、二一日に
行なわれた常任委員会審査の
中から、一部を抜粋し



ホームページに
おいて、各委員
会要点記録を
開しております。

総務委員会

問 市民参画推進事業において新設された、SDGs推進事業補助金について伺う。

答 SDGs推進事業と、SDGs普及啓発事業との二本立てとなっており、これまでの魅力あるまちづくり事業補助金を継承する推進事業のほか、SDGsの普及啓発に寄与する事業に対して補助を行う。

従来から行われている市民活動や芸術文化活動等についても、SDGsの一七の目標を意識した中で事業を行っていただくことを通じ、SDGsの意識の醸成を図っていきたい。



誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会へ

観光建設委員会

問 下水道事業において令和四年度実施される、マンホールトイレ設置工事の内容について伺う。

答 マンホールトイレは、下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設けて、災害時において迅速にトイレ機能を確認することを目的としている。

令和四年度は避難所に指定されている、北中学校及び門野中学校への設置を予定しており、今後は、市役所などの避難所以外のところにも、整備を進め、災害時に備えたい。



マンホールトイレは、災害時においても日常使用しているトイレに近い環境を確保できる

福祉文教委員会

問 令和四年度に新設される入学祝金の概要について伺う。

答 本市で育つ子供の健やかな成長を願い、市内に住所を有する子供の保護者を対象として、小・中学校に入学する子供一人につき五万円を祝金として贈呈するものである。

また、スポーツや学業面での進学を理由に、子供が転出をした場合も、一定の条件を満たす者については贈呈する。

入学おめでとう



健やかな成長を願い、入学祝金が贈呈される

令和四年三月二日
「ロシア連邦による
ウクライナ侵攻に
断固抗議する決議」を
全会一致で可決

令和四年二月二四日、ロシア連邦はウクライナへの侵攻を開始し、独立国家の主権を踏みこむ暴挙を行った。これは、明白な国際法違反であるとともに、国際社会の平和と安定の根幹を揺るがす断じて容認できない行為である。

我が国をはじめとする国際社会は、これ以上の戦争犠牲者を出さないために、この暴挙を抑えるあらゆる外交努力を行うべきであり、一日も早い地域の安定に向け、全力を挙げて行動しなければならぬ。

ここに伊東市議会は、ロシア連邦によるウクライナへの侵攻や主権侵害に断固抗議するとともに、直ちにロシア軍が攻撃を停止し、無条件で撤収するよう強く求める。

(決議文全文を掲載)

編集後記

伊東家は平家全盛時代に祐親により伊豆で最大勢力を持つ名門一族となりました。今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では伊豆に流された頼朝の監視役としてまた厳格な八重姫の父として登場しています。頼朝はその後挙兵し、頼朝側に付いた娘婿や孫達から味方に参じるよう勧められても最後まで忠義を尽くし平家の恩に殉じた武骨な侍として評価されています。また「曾我物語」は祐親の子、河津祐泰の仇を討つ、子であり祐親の孫にあたる曾我十郎五郎の物語として後世につながっていきます。(中島)

議会報編集委員会

- 委員長 佐藤 龍彦
- 副委員長 杉本 憲也
- 委員 鈴木 絢子
- 篠原 峰子
- 中島 弘道
- 田久保真紀

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ